

心臓血管外科、心臓内科に通院中の患者さまへ

現在、麻酔科（手術部）では、センターで保管している診療情報等を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題で利用する診療情報等の利用については、研究対象者の方の同意が得られていませんが、センター倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

【研究課題名】

経食道心エコーの僧帽弁計測と僧帽弁人工弁輪サイズの違いによる術後予後に関する検討

【対象となる方】 2015年1月～2017年3月の間に、僧帽弁閉鎖不全症で入院し、僧帽弁形成術の手術を受けられた方

【研究責任者】 大西 佳彦 手術部 部長

【研究の目的】 僧帽弁形成術の治療効果を調査するため

【利用するカルテ情報・資料】

診断名、年齢、性別、身長、体重、術前合併症、手術記録（人工弁輪のサイズや種類）
術前および術後の超音波検査（経胸壁エコー）、手術中の超音波検査（経食道心エコー）

【研究期間】 倫理委員会の承認が得られた日より 2019年12月31日まで（予定）

【この研究での検体・診療情報等の取扱い】

センター倫理委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした検体や診療情報等には匿名化処理を行い、ご協力者の方の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱っています。

【研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者】

研究責任者：麻酔科／手術部 部長 大西佳彦

研究内容の問い合わせ担当者

麻酔科 大西佳彦

電話: 06-6833-5012（代表）（内線 2353）